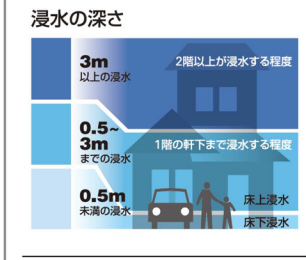


のまいけ
野間池
浸水深マップ



このマップは、野間池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

ここでは、ため池決壊による浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



避難経路の安全性

- 特に危険な区域(ため池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水通行には注意が必要

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

土砂災害(急傾斜地の崩壊)

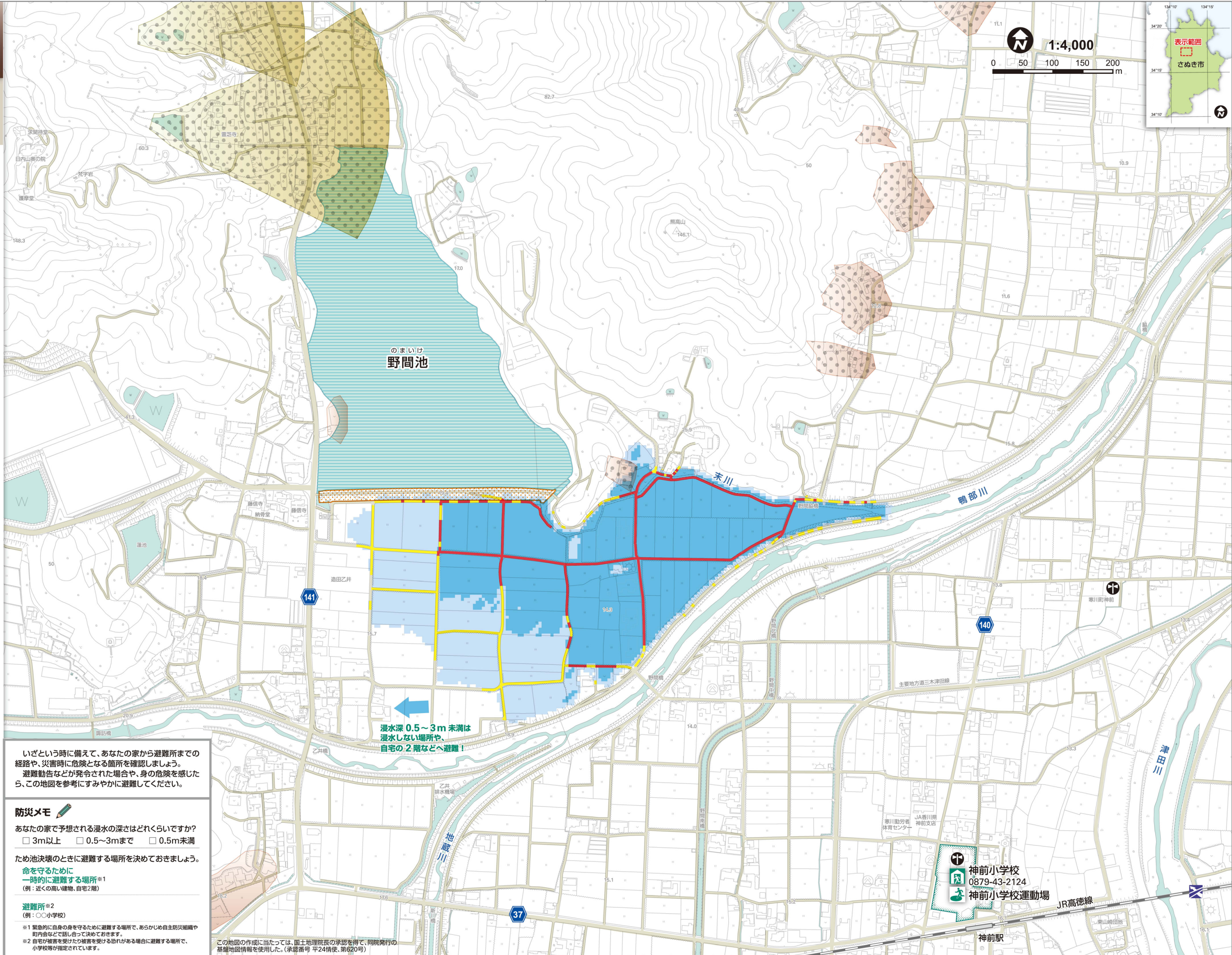
- 土砂災害危険箇所
- 土砂災害警戒区域

土砂災害(土石流)

- 土砂災害警戒区域

※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

- 凡例
- 避難所(建物)
 - 広域避難場所
 - 避難所・広域避難場所(敷地)
 - 避難方向
 - アンダーパス
 - 防災行政無線(屋外スピーカー)



いざという時に備えて、あなたの家から避難所までの経路や、災害時に危険となる箇所を確認しましょう。避難勧告などが発令された場合や、身の危険を感じたら、この地図を参考にすみやかに避難してください。

防災メモ

あなたの家で予想される浸水の深さはどれくらいですか？

☐ 3m以上 ☐ 0.5～3mまで ☐ 0.5m未満

ため池決壊のときに避難する場所を決めておきましょう。

命を守るために 一時的に避難する場所※1
(例：近くの高い建物、自宅2階)

避難所※2
(例：〇〇小学校)

※1 緊急的に自身の身を守るために避難する場所で、あらかじめ自主防災組織や町内会などで話し合っておきましょう。

※2 自宅が被害を受けたり被害を受ける恐れがある場合に避難する場所で、小学校等が指定されています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第620号)